

【傾聴として好ましい対応例】

「とてもたいへんな思いをしたのですね」
「とっても辛かったのですね」
「話せる範囲で構ないので、私で良かったら話していただけますか」
など

2. 逆転移の危険性

逆転移とは、治療者が被治療者に対して無意識に自分の感情を向けてしまうことである。救命救急医療の場面では、医療従事者が自殺未遂者に対して否定的な感情を向ける（陰性逆転移）ということがないように留意しなければいけない。不用意な態度や発言は、患者の自殺念慮を助長・再燃させてしまうことがある。

【やってはいけない対応例】

言 語

「こんな方法じゃ死ねないよ」
「死ぬ気になれば、なんでもできるでしょう」
「自殺は、してはいけないことだ」、など

態 度

「他にも命を助けたい人がいるので」と忙しいそぶりをする
「ここ（救急部）に入ったから大丈夫でしょ！」と相手にしない

3. こころの病む人の健康な部分に注目して関わる

看護師はこころを病む人の健康な部分に注目して、その部分を引き出し、その力を支えることが重要である。たとえば、統合失調症で幻覚妄想状態を呈する場合、その幻覚や妄想の多くは自殺未遂患者に不安や恐怖をもたらす。その不安を軽減するために、現実に目を向けることができるように関わることが必要である。つまり、幻覚妄想の世界である「病気の部分」ではなく、現実的な生活に直面した「健康な部分」に注目して関わることが重要である。